

たいない、議会だより

No.32

2012年11月15日

【題字】坂上 海斗 さん



築地小学校児童による松の植樹

11月1日、築地小学校の校庭で、松くい虫の被害により枯れてしまった松林を再生するため、築地地区の児童、保護者、地域の方が集まり、約300本の苗木の植樹が行われました。

第3回定例会の概要・市政報告	2
任期後半の議会人事	3
一般質問	4~11
3常任委員会審査	12~13
閉会中所管事務調査	14~15
23年度決算審査	16~19

平成24年 第3回 定例会 概要

市政報告

要旨

本定例会は9月11日から10月1日までの21日間にわたって開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算10件、条例の改正2件、市道路線の認定8件、負担付き寄付金の受納による基金条例の設置について等を慎重審議し、すべて全会一致で可決した。

また平成23年度一般会計、特別会計10件、企業会計3件の歳入歳出決算もすべて全会一致で認定し、議員発議で条例の改正2件を可決し、意見書1件も採択された。

議会人事については、富樫議長・桐生副議長・八幡監査委員の辞表提出により、新たに議長には、渡辺(宏)議員、副議長には、菅原議員、監査委員には佐藤議員を選出した。また常任委員会・議会運営委員会・議会報編集特別委員会の委員・新発田地域広域事務組合議会議員をそれぞれ選出した。下越清掃センター組合議会議員と新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員は留任とした。

民間企業によるメガソーラーの設置・運営について

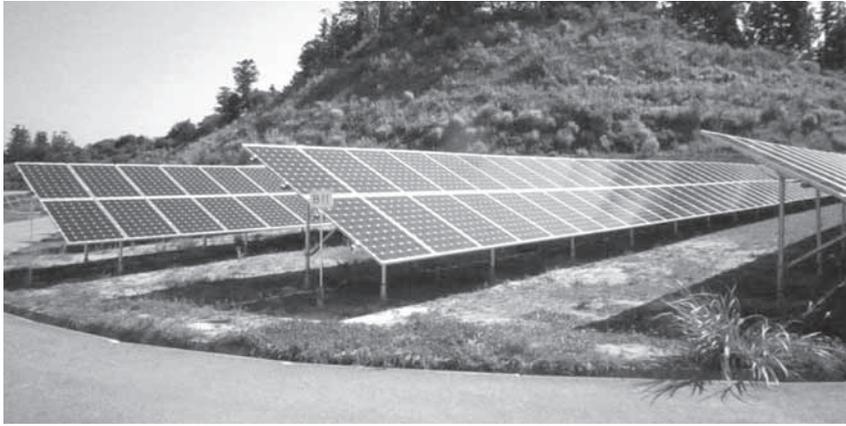
同発電所は「新潟胎内MS発電所」と称し、船戸地内の市有地で10月上旬から稼働する。一般家庭約600軒分に相当する電力量を生み出し、二酸化炭素削減量は年間約480トンを見込んでいる。

「城の山古墳」発掘調査について

第6次調査を実施した結果、テレビ・新聞報道にあるように、大和政権との関係がうかがうことのできる130点もの副葬品がセットで出土した。

歴史的価値が高いことから奈良文化財研究所の協力をいただきながら、その保存作業をすすめている。

教育委員会では来年度以降リーダー探査による調査等を行う予定である。又、日本海側北限の貴重な古墳となることから、国の史跡指定を受けるための作業を進めている。



船戸地内 メガソーラー発電施設

中条地区幼保一体施設の整備状況について

市内の保育園、幼稚園関係者、次世代育成支援行動計画対策地域協議会の委員の方々からも意見を聞きながら、8月15日に基本・実施設計業務の委託契約を締結した。建設予定地となる旧本条小学校については今年11月をメドに校舎の一部撤去工事を実施する予定。

乙総合福祉センターの今後の方向性について

耐震診断の結果、建築基準法に定める基準を満たしていない事等から総合的に勘案し、新たに建て直す方向で進める。今後は規模・機能・建築時期など地域の意見を聞きながら検討する。

上水道の放射性物質の検査結果について

市が任意でH24年8月16日、荒川用水を取り入れる、原水調整池の堆積物を汲み上げ、放射性物質の調査を実施したところ、最初に貯水する1号池においてキログラム当たり12ベクレルの放射線セシウム137が検出された。しかし並槻浄水場へ送水する3号池、中間にある2号池からは検出されなかった。

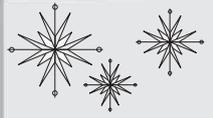
市では、1号池の堆積物における放射性物質の値が、国の定める基準の100ベクレル以下であるが今後の対応については県と協議を進めるとともに引き続き定期的な検査を実施し、結果については市民の皆様にお知らせする。



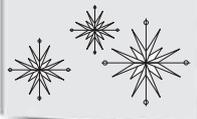
監査委員／佐藤秀夫

議長／渡辺宏行

副議長／菅原市永



任期後半の議会人事決まる



議会運営委員会

- ◎ 花野矢次兵衛 富 樫 誠
- 渡 辺 俊 新 治 ひ で 子
- 丸 山 孝 博 桐 生 清 太 郎
- 松 井 恒 雄

議会報編集特別委員会

- ◎ 富 樫 誠 菅 原 市 永
- 八 幡 行 雄 森 田 幸 衛
- 小 林 兼 由

新発田広域事務組合議会議員

- 渡 辺 宏 行 松 浦 富 士 夫
- 菅 原 市 永 薄 田 智

下越清掃センター組合議会議員

- 富 樫 誠 赤 塚 タ イ
- 桐 生 清 太 郎 花 野 矢 次 兵 衛
- 丸 山 孝 博 佐 藤 秀 夫
- 渡 辺 宏 行 薄 田 智

新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員

- 富 樫 誠

《◎：委員長 ○：副委員長》

総務文教常任委員会

- ◎ 薄 田 智 花 野 矢 次 兵 衛
- 桐 生 清 太 郎 新 治 ひ で 子
- 渡 辺 宏 行 渡 辺 俊
- 小 林 兼 由 八 幡 行 雄
- 富 樫 誠

厚生環境常任委員会

- ◎ 松 浦 富 士 夫 富 樫 誠
- 森 田 幸 衛 新 治 ひ で 子
- 丸 山 孝 博 佐 藤 秀 夫
- 松 井 恒 雄 高 橋 政 実
- 菅 原 市 永

産業観光常任委員会

- ◎ 高 橋 政 実 渡 辺 俊
- 天 木 義 人 八 幡 行 雄
- 渡 辺 宏 行 松 浦 富 士 夫
- 赤 塚 タ イ 森 田 幸 衛
- 桐 生 清 太 郎

まちづくり常任委員会

- ◎ 松 井 恒 雄 花 野 矢 次 兵 衛
- 赤 塚 タ イ 佐 藤 秀 夫
- 丸 山 孝 博 薄 田 智
- 小 林 兼 由 天 木 義 人
- 菅 原 市 永

政を問う



天木 義人 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

雪害対策について

議員 昨年度の除雪においてどのような問題点、反省点があったか、それを踏まえて今年の除雪計画は。

市長 市道路線の除雪計画については、現在作成中。昨年度の教訓を踏まえ積雪時における道路交通の確保、市民生活の安心、安全確保について効果的な除雪が実施できる計画を考えている。



除雪作業

議員 今年も全国各地で児童を巻き込んだ交通事故が多発している。特に積雪時は危険が増す。児童生徒の積雪時における歩道、通学路の確保とその対策は。

市長 各学校の教職員で通学路の危険箇所の確認作業、また地域学校ボランティアの方々による危険箇所を通報して頂くシステムにより早急に歩道除雪を行い、通学に支障ないよう万全をききたい。

議員 空き家の把握と、積雪による空き家の倒壊危険警告と倒壊処理は。

市長 空き家は推定500軒程度。今年1月から2月に7軒に雪おろし勧告、3軒実施、1軒拒否、所有者不明3軒は市で実施。相続放棄や相続不確定空き家2軒を市で解体処理。

地域特産物の販売促進について

議員 市の特産品は、黒豚、ワイン、ハム、ジャージャーヨーグルト等数多くある。これを町の近くで交通の要所で販売所を設置し、販路拡大を図っては。

市長 現在の状況を把握しつつ、市民及び観光客が立ち寄る施設等に再度

着眼し、市内の観光施設、道の駅、中条駅構内の売店、量販店や市外の百貨店によるギフトセット等の販売及びインターネットによる通信販売の拡大等販路拡大に努めていきたい。



中条駅売店

【その他の質問】

*公共建物等の維持管理について



薄田 智 議員

ズバリ市



これからの胎内市を担う子どもたち

胎内市の人口減少毎年300人、 検証と今後の対応は

議員 合併後7年経過したが、人口減少に歯止めがかからない、毎年300人ほど減少している。今までの検証と今後の対応は。

市長 子育て支援の充実、教育環境の整備、公共交通体系の構築を始め、企業誘致や地域産業の振興に積極的に取り組んでいる。また、自然環境や文化、産業などを発信し、住んでみたいと思われる魅力を創出していく。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



市内で建設されている住宅

若者の移住や起業家支援について

議員 消費税増税法案が可決され、増税前の駆け込みの住宅建設が予想される。他市町村から新規で移住し、新しく胎内市民になった人への補助金や減税の考えは。

市長 住宅取得に対する助成制度は一つの方法であると考えているが、一過性の助成制度より満足度の高い生活の諸条件の整備を図ることに重点を

置き、魅力あるまちづくりに取り組んでいきたい。

議員 地元の人間が、地元で働き、地元に住んでよかったと思われるまちづくりが必要。地域に根ざした会社を増やし、若者の雇用を拡大するため、地元起業家に対し、市独自の助成制度の創設の考えは。

市長 市内で起業する若い人材の育成と定着が必要と考える。そのため、市では育成資金制度の斡旋や信用保証料の補給制度を設け、中小工商业者の育成振興として実施している。

各集落内の地域コミュニティの支援について

議員 過疎地域において、地域コミュニティを活性化するため、地域集会所などの電気・ガス・上下水道公料金を市で負担できないか。

市長 市では公共料金の負担に関しては受益者負担の観点から支援できない。

【その他の質問】

*市内防犯街路灯の設置の見直しと全面的にLED照明に切替えてはどうか

政を問う



渡辺 俊 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

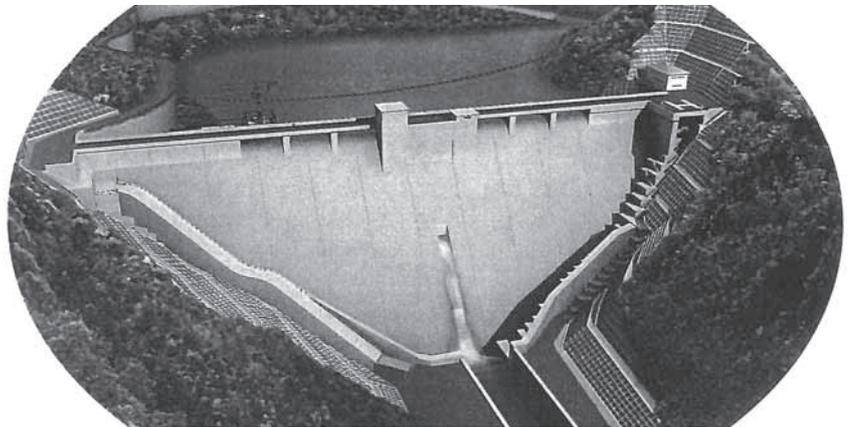
奥胎内ダム等について

議員 経年化したダムの現況と脱原発を見据えた次世代のエネルギー政策の中で、水力発電はどのような位置づけになっていくか。

市長 水力発電用ダムは、昭和37年完成の胎内第一、第二ダムと昭和51年完成の胎内川ダム、併せて建設中の奥胎内ダムの4ヶ所であり、県が随時調査を行いながら計画的に改修を行っている。また、国が進める次世代エネルギー政策の中で水力発電がどのような位置づけになるのかわからない部分もあることから、今後の国の政策、或いは県の政策を踏まえた中で判断していく。

議員 総事業費330億円からして、ダム本来の目的は勿論のこと、地域の活性化やダムの有効利用という視点からはダムそのものを観光資源として活用していくべきでは。

市長 奥胎内の新緑や紅葉は貴重な自然環境資源であり、奥胎内ダムは産業観光資源として有効活用することが市の観光振興につながるものと考えており、自然環境の保全にも十分配慮しながらシーズンに合わせた観光ツアーの企画、宣伝や(株)胎内リ



奥胎内ダム完成予想図

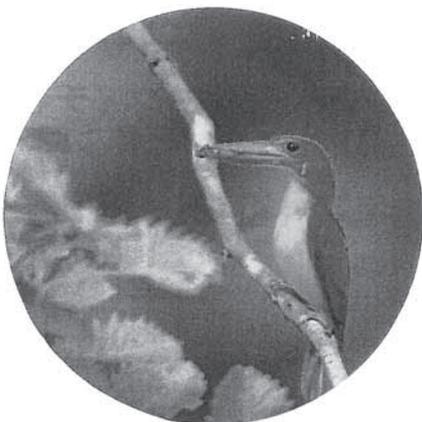
ゾート、ダム工事関係者との連携により更なる誘客を目指していく。また、ダムカードを利用したスタンプラリーやダム監視カメラのインターネット配信については今後実施が可能かどうか県と協議し検討していく。

議員 ダムと連携する奥胎内ヒュッテの現況等は。

市長 組織体制の見直しで経費の大幅な削減ができ、登山客、訪問客へのサービス重視にシフトして、リピーター客の増加を目指している。また、ヒュッテまでの道路については、法面の改修及び橋梁補修を行い安全な通行確保に努めているし、駐車場の拡幅、仮設関係についても奥胎内分所等と協議し整備していく。

【その他の質問】

- *胎内風力発電所について
- *太陽光発電について
- *樽ヶ橋エリアについて
- *安全・安心について



春に奥胎内へ飛来するアカショウビン



佐藤 秀夫 議員

ズバリ市

胎内リゾート地区の施設利用について



川合亭の土台

議員 雪被害で営業停止の川合亭及び、隣接の茶室の今後の取扱いについてどう考えているのか。

市長 自然を満喫できる施設なので、営業を再開したいが、補修にかなりの時間と費用を要することから現時点では有効な手だてがない。

議員 樽ヶ橋遊園などに持って行って再利用するという考えはないか。

総合政策課長 検討はしたが、コスト面で無理という判断になった。

議員 お茶を楽しむ会から茶会を開催をしたいという声があるが。

市長 第一に安心してその施設を使える状況であるのか再確認したい。

市営住宅について

議員 前山台団地、北町黒川団地、黒川地区教員住宅の空き家の状況、利用促進についてどう考えているのか。

市長 前山台住宅は全て一戸建ての中堅所得者家族向けの住宅である。家賃が高めで平成22年に値下げしたが、入居希望者が増えない状況である。さらなる家賃の値下げは考えていない。

北町黒川団地は、入居者の募集を停止しており、現在の入居者が全員退去した後、廃止除去を行いたい。

教育長 黒川地区の教員住宅の利用状況については、年々減少傾向となっているが、教員住宅として設置されたものであることから、他の用途に転用することは考えていない。

市道路線の検討について

議員 きすげ乳児保育園周辺の道路幅が狭く危険だが、道路拡張の考えはないか。黒川保育園の大型バス運行は道路が狭く、周辺住民が危険であるが、バス路線の変更はできないか。



きすげ乳児保育園

市長 きすげ乳児保育園周辺の道路幅については、通園する入園児と保護者の安全を確認し、関係課と保育園関係者からも要望を聞いて対策を検討したい。

黒川保育園の通園バスの運行路については、当面は時速20キロ以下の安全速度を遵守し、細心の注意を払いながら運行したい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

政を問う



小林兼由 議員

胎内市の公園のあり方

議員 胎内市には公園と呼ばれるものはあるが、無計画につくられてきたせいかほとんど利用されていない。子どもは遊びから多くを学ぶ。車社会の中、小学生も中学生も遊び場を奪われ、休みでもテレビゲーム、ファミコン。一日でも半日でも遊べる公園は親御さん達の切なる願いである。子どもには学ぶ事と遊ぶ事の調和が重要と思う。都市公園、7ヶ所、ほか23ヶ所、森林公園、1ヶ所というが、利用率の低い公園を整理し、みんなが集える公園は出来ないか。



長池公園

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

築地の砂取り計画について

市長 新たに公園を建設する計画はなく、樽ヶ橋エリアグラウンドデザインに基づき基本計画、周辺整備を含めた樽ヶ橋遊園の整備を検討して行きたいと思っている。

議員 あの白砂青松もどこへやら、松は枯れ、砂丘地域は山砂の採取で無残な姿となっている。毎日のような悪臭、松くい虫による松枯、そこへこの度の15町歩にも及ぶ砂取り計画、自然破壊に歯どめがかからない。それにもまして、公の立場にある人が業者の手先となつて動く事に問題がある。そこに自分の土地がある人はかわつてはならないと考える。地区住民はやがて来るだろう突風、竜巻きなどによる砂嵐に今から胸を痛め、苦慮している。いくら自分の土地であつても周囲に著しく迷惑をかける、また安全面から見て心配なものな条例等で規制すべきと思うが、市長の考えは。

市長 築地の保育園、環境改善センター、小学校への春の砂嵐は市役所からも確認できる。いろいろ地区の意見を聞きながら、あの地域と、白砂青松を守るにはどういふ風な条例でネットをかければよいか、皆さんのご意見で了解得るのが一番だと思う。



砂取り予定地

【その他の質問】

*高齢者世帯、一人暮らし、二人暮らしの安全をどう守る。



菅原市永 議員

ズバリ市

赤字解消不可能な市営の畜産事業の展望について

議員 観光振興による村おこしの施策としてリゾートを建設。雇用の拡大、農畜産振興目的で地域食材をメニュー化及び加工製品とし6次化により付加価値付け販売する黒豚・農畜産物加工・乳製品加工の業を興した。H23年度肥育豚1頭平均の生産原価と肉の販売額は、加工用豚1頭平均の生産原価と製品販売額は、ジャージー牛1頭平均の生産原価と製品販売額は。

市長 肥育豚の生産原価6万6,755円、販売額4万7,569円、マインス1万9,186円、加工豚の生産原価11万6,398円、販売額7万9,633円、マインス3万6,765円。ジャージー牛の生産原価320万1,049円、販売額177万7,189円、マインス142万3,860円。

議員 黒豚事業が経営改善できない原因は。

市長 飼料代が経費の44・7%を占め、飼育期間が長いのが要因と思う。

議員 赤字経営のまま黒豚事業を継続するののか。

市長 市内の養豚農家も今年度で廃止することになり、関係機関と今後について協議、検討する。

議員 民間委託、貸付について受託者がいない場合の対応について。

市長 経営状況などを勘案した上で事業を継続するか、廃止するかについて慎重に検討する。



胎内黒豚



胎内ジャージー牛

農業委員会の 建議について

議員 市長は建議書（農業振興策）に対しどのような政治理念のもと回答書を作成しているのか。

市長 市では担い手の育成や新規就農者の掘り起こしなどソフト面を中心に事業を展開し、ハード面は国・県などの事業を有効に活用しながら農業関係機関と連携を図り、持続可能な農業を育てる対策を講じたい。市の予算措置については政策的優先度を勘案し対応する。

【その他の質問】

*野猿対策について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

政を問う



丸山孝博 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

小型除雪機 購入に助成を

議員 今冬のような豪雪は繰り返すことを念頭に、市民生活を守るため、地域ぐるみで集会所や狭い道路、高齢者世帯宅などの除雪を行うことを推進する立場から、自治会や集落単位で小型除雪機の購入に対し、一定の助成を行うべきではないか。

市長 地域の方々が協力して狭い道路の除雪を行うことができれば効果的であると思っている。合併基金の運用益を活用していただくような形にしたい。



小型除雪機

窓口業務・図書館の民間委託の真意は



胎内市図書館

議員 戸籍や住民票など情報漏えいに最も注意を払わなければならない市役所の窓口業務を民間に委託することを検討している市長の真意は。

市長 先進事例を参考に、公共のサービスにおける民間委託の可能性について検討してみたい。

議員 図書館業務について指定管理者制度を導入することに、日本図書館協会は適切でない見解を発表している。行うべきでないと思うが。

教育長 図書館利用者へのサービス提供やコスト面等を総

合的に検証しながら、可能性について慎重に検討したい。

生活困窮者・孤独死把握の 体制づくりについて

議員 公共料金等の滞納は、生活困窮の兆候である。滞納が始まった段階で実態把握するとともに、担当につなぐ仕組みで生活再建を基本とした支援体制が必要と思うが。

市長 個人情報保護法等の制約にかんがみ、包括的な情報共有でなく、個々の事案ごとに対応するしかない。経済的不安を抱えた方々の存在に十分配慮し、柔軟に対応していきたい。

議員 厚生労働省が6回にわたり電気、ガス事業者との連携強化の徹底による生活困窮者の把握を求めめる通知を出しているが、市の対応はこの通達をもとにしたものか。

健康福祉課長 通達も尊重しつつ、それだけでなく、いろんな形で情報を取得し、ケアの拡充を図ってきたい。



新治ひで子議員

ズバリ市

がん対策の推進について

議員 市の胃がん検診の受診率は、H23年度11・1%。胃がんの発病には、食生活や喫煙などと併せて、ピロリ菌の感染が原因とされている。（国際がん研究機関が1994年に「胃がんはヘリコバクター・ピロリ菌が発ガン因子である」と認定。胃がん撲滅につながる新たな検診として、^{（注）}胃がんリスク検診を導入すべきでは。

市長 今後、ピロリ菌検診を必須とするような検診体制が求められる時には、積極的に導入を図る。

議員 がん教育は、子どものうちから学ぶことで、がんの予防や命の大切さを考えるきっかけになる。「がん教育」の推進が必要では。

教育長 今後の国、県の同行を把握し、県教育委員会の指導を受けながら、導入について検討したい。



^{（注）} 胃がんリスク検診とは

これは、バリウム・レントゲン検査のような直接胃がんを見つける検診ではない。血液検査で、ピロリ菌感染の有無と萎縮性胃炎の有無を組み合わせて、胃がんになりやすいか否かのリスク（危険度）をABCの3タイプに分類をする検診。検診後、自分が胃がん発症の因子を持っているか、胃がんのリスクが高いかを認識できることで、定期検診や治療への姿勢が積極的に変わる。血液検査だけで済むために、検診の負担が軽く、費用も割安。

樽ヶ橋周辺の整備について

議員 観光交流センターそばに、地域で収穫できる春の山菜や農産物、山の恵みを販売できる小規模直売所を設置し、運営を任せて高齢者の元気づくりに貢献できないか。観光交流センターから、遊園へつながる通路が未整備のまま。ベビーカーも通れる歩道に整備すべきでは。

市長 設置している仮設テントでの販売は、観光協会に申し込めば、誰

でも利用できる。直売所や道路の整備は、樽ヶ橋エリア・グラウンドデザインに基づき基本計画、整備実施計画を策定する段階で検討する。



観光交流センター駐車場

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

常任委員会審査

総務文教

常任委員会

9月14日

鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に、64万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3,694万4千円とする。歳入では、繰越金確定に伴い繰越金を増額。歳出では、基金への積立金を増額」

負担付寄附の受納 胎内市芸術文化交流施設建設基金条例の制定

「胎内市本町の山本邦彦氏及び新発田市緑町の山本善政氏から(財)北越美術博物館の解散予定に伴い、市へ寄贈する予定の美術品861点の展示又は保管をする施設を建設する費用に充てることを目的として、施設を建設できなくなったときは、寄附金の全額を返還すること等の条件を付した、合計で4,000万円の寄附を受納し、芸術文化交流施設を

建設するための財源として適正に管理運営するために基金を設置し、その基本的事項を規定する条例」

質問 H28年度までに建設するのか。

答弁 具体的な期日は未定であり、新市建設計画の順位によって左右される。

質問 財産としての価値はどの位か。

答弁 1億7千万円と相手側は言っている。



美術品 (財)北越美術博物館

胎内市災害対策本部条例の一部を改正

「法律の改正により、都道府県及び

市町村それぞれにおいて災害対策本部の規定がなされたことに伴い、本条例中の引用条文を整理するもの」

質問 自衛隊の要請は市町村でもできるのか。

答弁 法律的には県知事となっているが、実際の緊急時においては、弾力的に市町村から要請を行っている。

胎内市税条例の一部を改正

「法人実効税率の引き下げと課税ベースの拡大に伴う県と市の増減収を調整するため、県たばこ税の一部を市たばこ税に移譲することによる規定の整備をするもの及び退職所得の分離課税に係る所得割の額からその10分の1に相当する金額を控除する措置を廃止するもの」

厚生環境

9月18日

国民健康保健事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に9,832万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を36億8,756万6千円とするもの。歳入では、被保険者の前年所得の確定に伴い、国民健康保険税

を減額。国庫支出及び県支出金を減額。療養給付費等交付金、前期高齢者交付金及び繰越金を増額。歳出では、社会保険診療報酬支払基金に対する拠出金が確定したことに伴い増額。拠出金の算定方法の改正に伴い、高額医療費共同事業拠出金及び保険財政協同安定化事業拠出金を増額。国民健康保険給付準備基金への積立金を増額。前年度分の負担金等の精算に伴う国・県への返還金及び一般会計への繰出金を計上」

質問 人間ドックの助成事業補助金の増額は何人の受診者増を見込んでいるか。

答弁 100名分を予定した。

後期高齢者医療特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に595万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億6,165万2千円とするもの。歳入では繰越金の確定に伴い、繰越金を増額。歳出では、当該納付金の前年度清算金を計上。一般会計への繰出金を計上」

介護保健事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に4,545万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を28億2,745万4千円とするもの。歳入では、前年度介護保険

給付費の精算に伴う社会保険診療報酬支払基金からの交付金、介護給付費に係る一般会計繰入金及び繰越金を増額。歳出では、職員の時間外勤務手当及び公務災害補償基金負担金を増額。前年度分の負担金等の精算に伴う国・県への返還金及び一般会計への繰出金を計上。前年度繰越金の増額分を予備費に組み入れ」

黒川診療所運営事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に、248万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,248万7千円とするもの。歳入では、繰越金の確定に伴い、繰越金を増額。歳出では、職員の長期療養休暇に伴う代替え雇用するための賃金を増額。地方公務員災害補償基金負担金を増額。今後の医療費の動向や内科・歯科事業における施設及び医療機器の修繕費等の財政需要に備えるため、予備費に組み入れ」

農業集落排水事業特別会計補正予算

「予算の総額に変更はないが、繰越金の確定に伴い、一般会計からの繰入金を減額し、繰越金を増額」

簡易水道事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に454万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額

を1億6,414万2千円とするもの。歳入では、繰越金の確定に伴い繰越金を増額。歳出では、職員人件費と予備費を増額」

質問

人件費の増は人数が増えたのか。

答弁

課内の異動により、人件費の高いものがこちらに異動したため。

新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更

「外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係市町村の負担金の算定に係る「高齢者人口割」及び「人口割」中の「外国人登録原票」の表記を削除するもの」



公共用地先行取得事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に127万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6,497万7千円とするもの。

歳入では、一般会計からの繰入金を増額。歳出では、下越土地開発公社

を通じて取得するため支払いを行っている船戸地内の用地に、(株)ウエストエネルギーソリューションがメガソーラー発電所を建設することに伴い、一括で繰り上げ償還するための経費を計上」

質問

メガソーラーで使うのは用地全部なのか。

答弁

約10万㎡あるうちの約2万5千㎡をメガソーラーで使う。

観光事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に591万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億9,153万8千円とするもの。歳入では、ビール園食堂収入と繰越金の確定に伴う繰越金を増額。諸収入として、建物災害共済金を計上。歳出では、胎内アウレツ館の浴室ガラスの取換工事を増額。樽ヶ橋遊園のゴーカート修繕費を増額。イベント開催に伴う胎内高原ビール園の運営費を増額。胎内スキートロッジの修繕費を増額」

質問

ビール園はやめたはずなのに増額補正があるのはなぜか。

答弁

すでに閉めているレストランで11月に「さよならビール園」イベントを行う予定。

質問

ビール園の償還残額はどのく

らい残っているのか。

答弁

償還金は約1億円。繰上償還となるのか、償還を続けられるのかは県と協議しなければならぬ。

地域産業振興事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に297万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億5,457万4千円とするもの。歳入では、繰越金の確定に伴い、繰越金を増額。歳出では、農畜産物加工施設のスモークハウスの制御盤交換工事を計上」

市道路線の認定

「宅地造成された場所において、道路として寄附採納を受けた「旭町6号線」「住吉町15号線」「中条鴨田2号線」「中条鴨田3号線」並びに、地権者や、地元集落からの要望及び市道管理等の必要性等により「住吉町14号線」「富岡地本線」「土作3号線」「高野2号線」の計8路線を市道として認定する」

質問

合併前の町道から当然、市道に移行していると思っていたが、このような事例が他にあるのか。

答弁

今後、道路管理について、十分注意をして二度とないようにした

閉会中所管事務調査

総務文教常任委員会

7月27日に小野教育長、五十嵐生涯学習課長に出席を求め、地域スポーツ施設および「城の山古墳」の現地調査を行った。築24年で唯一「新耐震基準」を満たしている本条体育館を皮切りに、築53年の最も古い柴橋体育館、途中で「城の山古墳」を視察し、竹島体育館、村松浜体育館、築地体育館、高浜体育館、大出体育館、乙体育館を視察した。視察を終え、各委員からは、地域スポーツ施設の現在の至るまでの経緯や管理運営上の責任の所在、平成18年から使用していない老朽化した大出体育館について解体する考えはないのか。などの質問があった。それに対し、教育長からは、閉校になった時点で、まだ使用できる施設なので、必要な部分だけ、補修を加えて地域の施設として使用してきた。管理責任については、市に当然あると考えている。



城の山古墳

(文責 森田)

しかし、社会体育施設は、耐震化をクリアしなければいけないという縛りは無いので、老朽化した施設に維持管理として大きな経費を掛けるのは、利用率からみて得策ではない。今後、施設をどうするのか、状況に応じて修繕しながら使用するのか、廃止するのか、計画をしっかりと立てていきたい。との考えが示された。「城の山古墳」については、発掘作業の途中だったが、約1,700年前、この地域に大和政権に深いつながりを持った有力者がいたという歴史ロマンを感じた。関係各位の努力に敬意を表すると共に、胎内市の貴重な財産であり、新たな観光名所になることを期待せずにはいられなかった。

厚生環境常任委員会

去る7月13日、井畑健康福祉課長と須貝係長の案内で『子育て支援関連施設の状況について』現地調査を行った。調査は「私立きすげ乳児保育園」、「私立聖心こども園」、「市立ふたば保育園」の3園で実施した。現地の意見や主な質疑応答は、

- ①「きすげ乳児保育園」
 - ・一時保育の受け入れは3〜4人。申請は予約で埋まっていなければ前日でも可能。受け入れは、市内の他の園とも調整したい。
 - ・黒川保育園との交流状況は、夕涼みや会や広場での交流、年長の運動プログラムへの参加、職員間の交流など。
 - ・送り迎え時の駐車スペースは十分ではないかも知れないが、未満児の送り迎えは親が責任を持つてする事になっている。
- ②「聖心こども園」
 - ・幼児教育に保育を加える事による教育方針の変化については、家族とのつながりを持ちながら、0歳からじつくり見守り、土台づくり
- ③「ふたば保育園」
 - ・延長保育の割合は全体の6〜7割で、そのほとんどが幼稚園児。
 - ・一時保育の受け入れも実施し、子育て支援センターには園のスタッフを配置して開放している。
 - ・介助が必要な子どもがおり、保育士が加配されている。
 - ・エアコン設置は、未満児の保育室へ設置した。
- ①「きすげ乳児保育園」の除雪対策
 - 調査終了後に委員会室に戻り、まとめた調査結果の内容は、
 - 園の周辺は道路幅が狭



ふたば保育園



聖心こども園

- ②「ふたば保育園」は来年で築20年を迎え、定期的なメンテナンスが必要なのは3割が臨時職員であるのは少子化によるのか、経費削減のためか臨時職員を減らす対応が必要では
- ③『子どもは市の宝である。施設は整備されたので、より良い保育や運営など中味の充実を期待したい。』という、全体的な要望が確認された。

(文責 新治)

産業建設常任委員会

8月27日、高橋農林水産課長、桐生係長の出席を求め、市の重要課題と位置づけ

- 一、松くい虫被害の現状とこれまでの取り組みについて
- 一、胎内市松くい虫被害対策事業推進計画(案)についての審査を行った。

最初に農水課長より、被害量がH22年度末において2,700㎡に至った経緯、被害木処理、防除の現状を踏まえ、胎内市としては、海岸松林を次世代に継承し、市民が安全、安心に暮らすことの出来る社会の実現を図って行くため、松くい虫の終息化と再生事業に取り組んでいく必要があるとの説明を受けた。

これらについて主な質疑、意見としては、

- 一、防除の薬剤効果はみられたか。
- 一、対応が、後手後手になっているのではないか。
- 一、市の税金を1億円近く使用しているが、こんな事が続くようだと住民にも不満と不安が広がるが。

それに対し農水課長からは、「効果は目では認識出来ないが、秋の調査も考えているので結果が出ると思う。又、県とも話し合い様々な要望もしている」等の説明であった。そして今後の対策事業推進計画案については次のとおりであった。

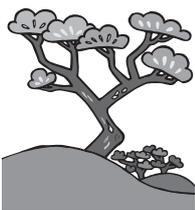
- 一、保全する松林の限定と徹底防除
- 一、協働による松林づくり
- 一、地域住民や関係者の意向確認と合意形成。

それに対する主な意見は、

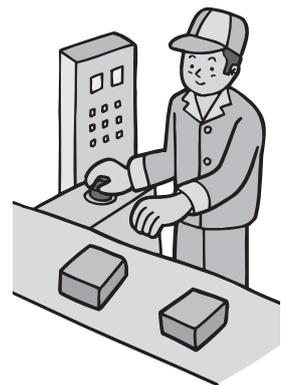
- 一、広域的な取り組みも必要なのではないか。

一、あまいな対応でなく、専門家の判断をおおぐ必要があるのでは等がだされそれを受け農水課長からは、「すでに抜根、整地し植栽もはじめているところもあり、村上の森林研究所と話し合いながら進めている。」との答弁を受け、今後取り組みで行かなければならない課題とし、委員間で確認した。

(文責 小林)



企業誘致促進特別委員会 平成24年第3回定例会報告



今定例会に議員提案されている「胎内市議会委員会条例の一部を改正する条例」で、3常任委員会から4常任委員会になることに伴い、新設される「まちづくり常任委員会」の中で企業誘致を促進して行つてはどうかについて、去る8月3日、当委員会を開催し、検討した。

各委員からは、企業誘致が、「まちづくり常任委員会」に移行され企業誘致が促進していくのであれば、「企業誘致促進特別委員会」を廃止することについて問題はないなどの意見が出された。

以上のことから、全会一致で「企業誘致促進特別委員会」を委員会条例の一部改正に合わせて、廃止することとした。

(文責 渡辺 俊)

平成23年度

決算審査行われる!

決算審査特別委員会

一般会計

9月25日

※質疑のなかった款については掲載していません

歳入の総額は、159億6,746万円で、予算現額に対する執行率は、94・9%で、歳出の総額は、151億8,225万円で、予算現額に対する決算額の執行率は、90・2%であり、実質収支は、7億2,554万円の黒字となっている。

審査の着眼点として、歳入では、予算が計上どおり確保されたか。また、そのための努力が十分なされたか。歳出では、予算が事業等の趣旨、目的に従って適正に執行されたか、また、行政効果などの程度達成されているかを主眼において、審査が行われた。

歳

出

総務費

質問 新潟出合いサポート事業助成金の成果は。

答弁 商工会青年部において今年2回行った。合計で32組中12組のカップルが成立。

質問 合併振興基金の活用成果は。

答弁 現在177件の応募で3,732万円支出している。

民生費

質問 生活保護費について、昨年決算額よりも費用が増えているがその中身は。

答弁 昨年度決算との差は2,000万円である。H23年4月現在で被保護世帯は107世帯、被保護人員129人である。これがH23年度末

では118世帯、137人となった。県の平均保護率が0・8%のところ胎内市は0・45%弱である。

質問 顕彰条例で100歳以上の人に毎年、20万円ずつ支払っているが、長寿高齢者化の現在、100歳で祝ったら101歳以上はすでに任務を果たしたと思うが。

答弁 財政的な部分、真に高齢者に対するケアなのか、弱者に対する部分など、顕彰の支援になっているかを考えている。近隣の市町村では変化させているところもあるので、来年度以降検討したい。



敬老会風景

衛生費

質問 臭気チェックモニターの報告について、どのような内容があったのか。

答弁 4人をモニターとしてお願いしている。H23年度は、15日単位で臭気の確認を報告してもらっているが、直近の報告では、築地地区について、1ヶ月のうち、半数以上が臭いが感知できる程度という報告となっている。

質問 臭気測定の結果をもらったが「全体的に改善」というのと「改善がみられない事業所」という相反するものとなっているが、悪い事業所の名称は公表できないか。

答弁 事業所の申し合わせで事業所の公表はしていないが、地域からも公表するように言われているので、公表を前提として今後の課題としたい。

労働費

質問 緊急雇用創出事業は37事業、雇用者101人となっているが、主な内容は。また、米タウン米粉普及拡大事業委託はどこに委託しているのか。

答弁 公園公道美化整備、観光地景観整備事業、バイオマス事業、放課後こども教室。また、米タウン米粉普及拡大事業は小国製麺に委託している。

農林水産費

質問 フルーツパーク剪定作業はどこに委託しているのか。

答弁 市営フルーツパークの垣根の剪定は新潟フルーツパークに委託している。

質問 チューリップまつりの来客者の推移は。

答弁 H23年度は、5万3,330人、H22年度は6万人だった。今年度は雨だったので、3万7,404人の来客数。

質問 イベント内容の見直しを考えた方がいいのでは。

答弁 マンネリ化については、菜の花の文字をH21年度から行い好評。来年度は熱気球、高所作業車などの仕掛けづくりを考えている。

質問 黒豚事業について、毎年赤字を出している中で、地域の活性化を図ると毎年記載されている。H26年度までに肥育部門について管理委託すると把握しているが、どれぐらい改善されるのか。

答弁 具体的には今の段階では言えない、県とのやり取りの中で委託できるか左右される。地域の理解も必要だ。

質問 農業者年金加入の状況はどうか、法人は加入できるのか。

答弁 年金受給者は557人、被保険者が60人。新規に加入する人が少なくなっている。法人は加入できない。

質問 圃場整備、ほぼ完成しているが、これからの方向性は。

答弁 暗渠を残すだけとなったが、築地地区で堀川の整備を行うことになったので換地処分が遅れる。柴橋地区は旧柴橋川を埋める工事を県にお願いしている。本条地区はH25年度で終了。ほかはH28年度までに終了と聞いている。



暗渠工事

商工費

質問 胎内リゾート施設の管理委託料は予算より2,000万円減額となったが、その中身と理由は。

答弁 減額になった要因は、ロイヤル胎内パークホテルはじめ各施設の収支改善により減額になった。

質問 今年度は9,000万円に なっているのでは、効果が上がったのか。

答弁 人件費と経常経費の削減ではあるが、上向いている。

質問 観光活性化調査業務委託料690万円の内容、効果は。

答弁 この委託料は、胎内リゾートの活性化、観光まちづくり推進業務事業、マーケティング調査の3つ。各種アドバイスももらって、観光まちづくり、米粉シンポジウム等米粉関係の事業で効果を上げている。

土木費

質問 除排雪関係費は2億7,000万円であったが、国からの助成金は。

答弁 除雪費は臨時交付金が入っている。

質問 市営住宅8号棟18戸は全部ふさがっているのか、待機者の状況は。

答弁 8号棟は全部入っている。待機者は30人くらいで横ばい状態。

教育費

質問 報償費いじめ対策謝礼、20万円の内容は。

答弁 いじめ対策委員28名の謝礼と昨春秋開催のいじめ根絶スクールの講師謝礼。

質問 彫刻美術館には何名が入館したのか、大平さんに運営費を出してもらった話はどうなったのか。

答弁 土日88日間の開催で129名。大平氏との交渉は結論が出ていない。

歳入

■歳入全般での質疑

市税

質問 市民税と固定資産税の収入未済額の対象者は。

答弁 市民税は所得の下がっている人、固定資産税は厳しい状況にもかかわらず収入に関係なく納めなければならぬことで増えている。

質問 納税の督促はどうなっているか。

答弁 督促状、警告、電話で連絡。納入できない事情を聴取。分納などの相談を受けている。

決算審査特別委員会

特別会計

9月26日

※質疑のなかった会計については掲載していません

主な質疑

国民健康保険事業

質問 保険給付費の総額は昨年より減っていたというが、一人当たりは増えているのは、どういうことか。

答弁 給付者数が減っている。

質問 高額医療費は減っているがその理由は。

答弁 該当者数が減少している。

質問 燕市でジェネリックの具体的な通知をやって保険料を下げる取り組みをしていると聞いたが、そのような方策を考えているか。

答弁 胎内市も国保連合会を通じて開始した。

質問 一般会計からの繰入金金の772万6千円はどういう理由か。

答弁 少しでも保険料を抑えるため。

質問 これからも一般会計から繰り入れは続けるのか。

答弁 基金がたくさんあればそれを取り崩して対応したい。法的な問題もあると思うが上がらないように考える。

介護保険事業

質問 認定者のうち、在宅介護と施設入所の人数は。

答弁 H24年3月時点で、1,242人中、在宅883人、施設は359人。

質問 自立の人でも、もしもの時はサービスを利用できるのか。

答弁 急に介護が必要になったとき、その時点で介護認定する。

質問 介護予防をしっかりすれば介護保険料の軽減に繋がるのか。

答弁 介護予防による効果の割合は出ていない。いろいろな教室はやっているが、実際に集まるのはほとんど女性で男性はほとんどこない。少

しても健康寿命を長くしたい。

黒川診療所運営事業

質問 この会計の利用者数、患者数とその前年比は。

答弁 医科はH22年度7,973人、H23年度7,907人、胎内歯科はH22年度1,603人、H23年度1,505人。黒川診療所歯科はH22年度5,731人、H23年度5,724人。マッサージはH22年度1,006人、H23年度999人。合計H22年度1万6,313人、H23年度1万6,135人。



黒川診療所

農業集落排水事業

質問 水洗化率と今後の対応について

て、特に乙地区、大長谷地区の接続率が悪い。新たな秘策は。

答弁 水洗化率は64・9%、この事業の課題、懸念である。経済的理由、老人世帯、跡継ぎ問題が理由。広報、個別訪問、業者からの営業訪問、リフォームの助成利用、単独浄化槽の撤去補助などの面からも取り組んで行きたい。

簡易水道事業

質問 かなり年数が経ち老朽化しているとのことだが、年次計画で交換していく計画はあるのか。

答弁 石綿管はないので、漏水の多いところから重点的に対応して行く。

鹿ノ俣発電所運営事業

質問 収入額が90%を切った大きな要因は何か。

答弁 昨年の春先の発電が大雨により一気に雪が溶けたことにより発電が少なかったことと、夏の渇水の影響もある。

質問 運営上影響はなかったか。

答弁 大きな修繕などもなかったことで支出も少なく、資金面では影響はなかった。

決算審査特別委員会

公営企業会計

9月27日

※質疑のなかった会計については掲載していません

主 な 質 疑

公共下水道事業

質問 家を新築しても受益者負担金の納付書が来ないのはなぜか。

答弁 工事が終わった翌年度の4月に発行している。

質問 未収金が多くなってきているし、受益者負担金が欠損金となっているのはなぜか。

答弁 料金の未納のほか、3月末が土曜日だったことにより口座振替が翌月になったこと、新発田市からの維持負担金が4月に入って入金されたことが原因。

受益者負担金は経済的な理由がほとんどである、確約を結んで時効にならないようにしているが、やむを得なく欠損金として処理している。



弥彦岡地内にある中条浄化センター

質問 工事は集落でどれくらい同意で始まるのか、一人暮らしの老人はなかなか繋ぐ必要性を感じていない。亡くなって空き家になったら相続人が払うのか。

答弁 農業集落排水事業は1軒1軒ハンコをもらって事業するが、下水道はそこまではしていない。下水道事業に理解のない人、財政面で苦しい人などもいる。差し押さえはでき

ることになっているが、実際はやっていない。相続人をお願いするケースもある。

質問 ガソリンスタンドや洗車場、多くの油を使う食堂などどのような指導しているのか。

答弁 あまり多い量では受け入れない場合もある。

ガソリンスタンドでは下水道法で決まっています受水分離器を利用した後流してもらっている。

質問 下水最終汚泥の量と処理方法は。

答弁 年間7,000トン位を炭化して出来上った44トンすべてを市外に販売している。

質問 放射能の検査をした後に販売しているのか。

答弁 脱水汚泥については検査している。放射能は出ていない。

水道事業

質問 水道管の老朽化によって漏水事故が考えられるが、個人の敷地内で漏水が起きた場合は個人負担か。

答弁 負担の境目は官民の境である。漏水の場合は下水道は減免になるし、水道も50%減免になる。内容によってそれ以上の減免もある。



上水道タンク

質問 メーターは市のものでないのか。

答弁 メーターは市の所有。

質問 個人の漏水事故は年間どれくらいあるか。

答弁 簡易水道も含め、H23年度124件だった。

質問 有収率76・3%は他市町村に比べてどうなのか。

答弁 他市町村は80%以上であり当市より高い。

※有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量との比率



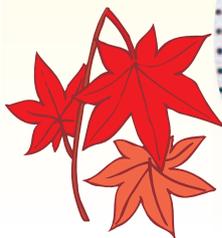
第4回議会定例会 (12月議会予定)

- 11月**
 - 26日 議会運営委員会
 - 30日 本会議 (初日)
- 12月**
 - 4日 総務文教常任委員会
 - 5日 厚生環境常任委員会
 - 6日 産業観光常任委員会
 - 7日 まちづくり常任委員会
 - 11日・12日 本会議 (一般質問)
質問者数により12日は休会
になります
 - 14日 本会議 (最終日)



きのと小学校6年生
坂上海斗さんの作品です。

きのと小学校には、全校縦割り
りのなかよし班があります。
清掃や行事などを一緒にしてい
ながら、なかよく活動してい
ます。



議会基本条例案の答申

平成22年10月議長より諮問のあつた「胎内市議会基本条例の制定について」議会運営委員長から次のとおり答申があつた。

H24年3月26日に中間答申後、議会基本条例設置準備委員会を立ち上げ、精力的に取り組んできた。その結果、胎内市議会基本条例をH25年4月1日より施行するため、H25年第1回定例会(2月議会)に議員発議として提案する。

通年議会については、自治法の改正があつた為に基本条例とは分けて協議する。

それまでの間、準備委員会は、目的達成まで継続する。



議会基本条例案の答申

議会報編集委員新メンバー



編集後記

築地砂丘畑に高さ50mの塔が建ち、夜間ライトアップされた姿は、まさに胎内のスカイツリーだ。JX日鉱日石開発(株)さんが5年ぶりに掘削する地下2,200mの天然ガス、原油の井戸だそうです。太陽光発電・風力発電、そして奥胎内ダムの水力発電とその姿もようやく見えてくるなど、太陽・風・水・そして地球へと、胎内市が猛然と自然へアピールする姿は頼もしい限りです。

(富樫)

◆平成24年11月15日 ◆発行責任者 議長 渡辺 宏行 FAX (02554) 4316111 (02554) 4417875 〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号 印刷/島津印刷株式会社